

ハートリレーキャンペーン

シーテック クリック募金 2020 報告書

クリック募金開設期間:2020年6月1日~2021年1月31日

クリック募金は期間内に2万クリックを達成しました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。ご寄付は以下の5団体に配分し各活動に使わせて頂きました。2020年度に実施した活動をここにご報告致します。

(特活) 地域国際活動研究センター(CDIC・シーディック)

東ティモール民主共和国リキサ県バザルテテ郡マウメタ村にて、現地 NGO (organizasaun Mankledo オルガニザサウン マンクレイド) をカウンターパートとしています。マウメタ村民と連携して村の共有地にある水源地の保護活動をしています。植林した木は5m以上に成長し、数も増え、保護林となっています。この林は同時に小川の水源となり、家畜の飲み水や村人の生活に大きく役立っています。



保護林の下草刈りなど手入れ作業



東ティモール支援地で小川の水源を利用した魚の養殖

現地 NGO は自ら UNDP や環境省の支援を受け、自立してきています。水源からパイプで水を運び、水槽で魚の養殖を始めました。植林地からも近い場所です。村人の環境意識を育てる活動に取り組み、村人の環境保全への取組も時折見られるようになりました。女性が中心になったマイクロクレジットなど次第に活動も多方面に広がってきています。

ネパール国の2015年の大震災で倒壊した小学校を訪問し、子どもたちと交流しました。こちらでも環境意識を育てる活動ができないか考えています。

ニカラグアの会

本年は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、現地を訪ねることさえでき

ませんでした。今後、こういった状況が再度起こることも想定できますので、より再生可能エネルギーの普及を図り、他の国にあまり依存せず、また「環境保全」も進めていく事業をともに考えていきたいと思っています。

日本同様、国内資源に恵まれないニカラグアですが、周りを見渡せば活用できる物は多くあるはずで、自分たちの生活様式を見直しながら、より自律的で心豊かな生活を見つけていく、その手伝いをしていきたいと考えています。

(2枚の写真とも、ニカラグア北部の街・エステリにある夜間女性成人学校においての、2019年手作りソーラーパネル講習会の一コマ)



南遊の会

ベトナム、ホーチミン市郊外のカンザー地区で2002年から毎年実施してきたマングローブ再造林事業に参加するスタディツアーを、今年度は新型コロナウイルスの影響で行うことができませんでした。

毎月1回開催していた例会も、対面での実施が困難となり、オンラインでの開催に切り替えざるを得ませんでした。しかし、対面では参加が難しかった県外在住の役員や会員の参加が可能となり、制限された状況下での活動の可能性や、近い将来に開始されるであろう間伐作業に伴って発生する間伐材の有効利用法などについて、有益な情報収集と議論を行うことができました。その成果として、国内での感染状況を見極めつつ、まずは国内における間伐材利用の先進地域でスタディツアーを実施すべく準備を進めています。



放棄塩田での植林作業

今年には南遊の会発足20周年を迎えます。これまでに植林した苗はすくすくと育ち、初期の植林地では10mを超える高さまで成長しています。現状では2021年夏のスタディツアーも中止せざるを得ない状況ですが、現地森林管理署、および協働してスタディツアーを実施してきたホーチミン市のホンバン国際大学と共に、コロナ収束後

の活動の方向性について議論を進めていく予定です。

森造りには長い年月が必要です。南遊の

会は現地の森造り、さらには生態系の回復に貢献すべく、微力ながらもできる限り息の長い活動を続けていく所存です。

（認定特活）アイキャン



フィリピン全土で約 25 万人に及び路上生活をする子どもたち。空腹や病気等に苦しみ、事故や犯罪に巻き込まれる危険に常にさらされています。そのほとんどは毎日学校に行くのではなく、危険あふれる路上に行き、働くことでわずかな小銭を稼ぎながら命をつないでおり、環境について学ぶ機会はほとんど有りません。

さらに、今年度は新型コロナウイルスによりフィリピンでは非常に厳しい首都封鎖等の措置が取られた事で、路上で物乞いや物売り等をして生計を立てていた子ども達は完全に収入を失い、生きていく事すら困

難な状況に追いやられてしまいました。

そのような状況下で、緊急対応が必要となった事に加え、人が集まって実施をする環境教育活動の実施は困難となりましたが、首都封鎖の緩和後より、アイキャンが運営する児童養護施設「子どもの家」や路上の子ども達が暮らす地域において、空きペットボトルやタイヤを使った、隙間スペースを活用したガーデニングの実施に向けて、準備を行ってきました。子どもたちが少しでも環境について学ぶ機会を提供できるよう、今後もお力添えをよろしくお願いいたします。



（特活）イカオ・アコ

イカオ・アコは、フィリピンボホール島、ネグロス島でマングローブの植林など環境関連の事業を行うNGOです。

かつて、対象地域のネグロス島の臨海部はマングローブ林が豊かな土地でした。1950年代には 13,000ha ありましたが、

一時 500ha まで減少しました。材木の利用、農地開墾、養殖池への転換などにより、マングローブ林の伐採が継続的に行われてきました。感潮域に生育するマングローブ林は、水生動物の産卵場所、小魚や甲殻類の生息地として重要であり、マングローブ林

の減少は近海漁業の不振のひとつの原因となっています。二酸化炭素吸収量が大いことから、近年は気候変動を抑止する効果が注目されています。

御社のシーテッククリック募金により、いただいた浄財は 34,000 円となりました。おかげさまで 680 本のマングローブの苗をダブダブ村にて植林しました。苗代や運搬費などで 1 本当たり 50 円のコストがかかります。



本募金で植林したマングローブは、約 0.1 ヘクタール分にあたります。今後、地元団体のメンバーの手により、継続してメンテナンス活動を行っていくことで、造林が完了することを目指します。

皆様一人ひとりのクリックが募金につながったことに感謝し、途上国の環境保全活動を継続していきます。今後とも応援をよろしくお願いします。



シーテッククリック募金とは？

シーテッククリック募金WEBサイト (<http://www.ctechcorp.co.jp/bokin2020//>) より期間中に「応援します」をクリックして頂きます。1クリック=10円としてクリック数に応じて(株)シーテックが環境分野で活動する名古屋 NGO センター加盟 5 団体へ寄付します。上限金額は 20 万円です。

ご寄付 20 万円の配分について (2021 年 3 月 31 日)

- | | |
|--------------------|------------|
| ・(特活) 地域国際活動研究センター | 34,000 円 |
| ・ニカラグアの会 | // 円 |
| ・南遊の会 | // 円 |
| ・(認定特活) アイキャン | // 円 |
| ・(特活) イカオ・アコ | // 円 (順不同) |

※事務手数料として寄付金額の 15% (3 万円) を頂戴しました。

特定非営利活動法人名古屋 NGO センター

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町 2-3 YWCA ビル 7

FTel&FAX 052-228-8109 E-Mail : info@nangoc.org